

聖パウロ学園 同窓會會報

第7号

平成9年12月25日発行

—発行所—

聖パウロ学園内
同窓会事務局

〒525

草津市野路町178

☎077-564-5600

母校での教えを社会へ

新会長 伊藤 知子(2期生)



躍のこととお慶び申し上げます。何分初めての経験でもあり、皆様の御協力のもと、母校同窓会の発展を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、前会長の内田和宏氏の後任として同窓会長を務めさせていただきました。ご学業、社会活動へのご活躍のことは、皆様のお力添えを心より願って止みません。

月日の経つのは早いもの、我が母校も平成十年四月には、創立十周年を迎えます。バブル経済の全盛期であった十年前とは異なり、内面的な美しさ、誠実さが求められる時代へと変貌しつつあります。卒業生におかれましては、各人の現状を鑑み、母校の建学の精神

就任の挨拶

名誉会長
学校長 小林 富三

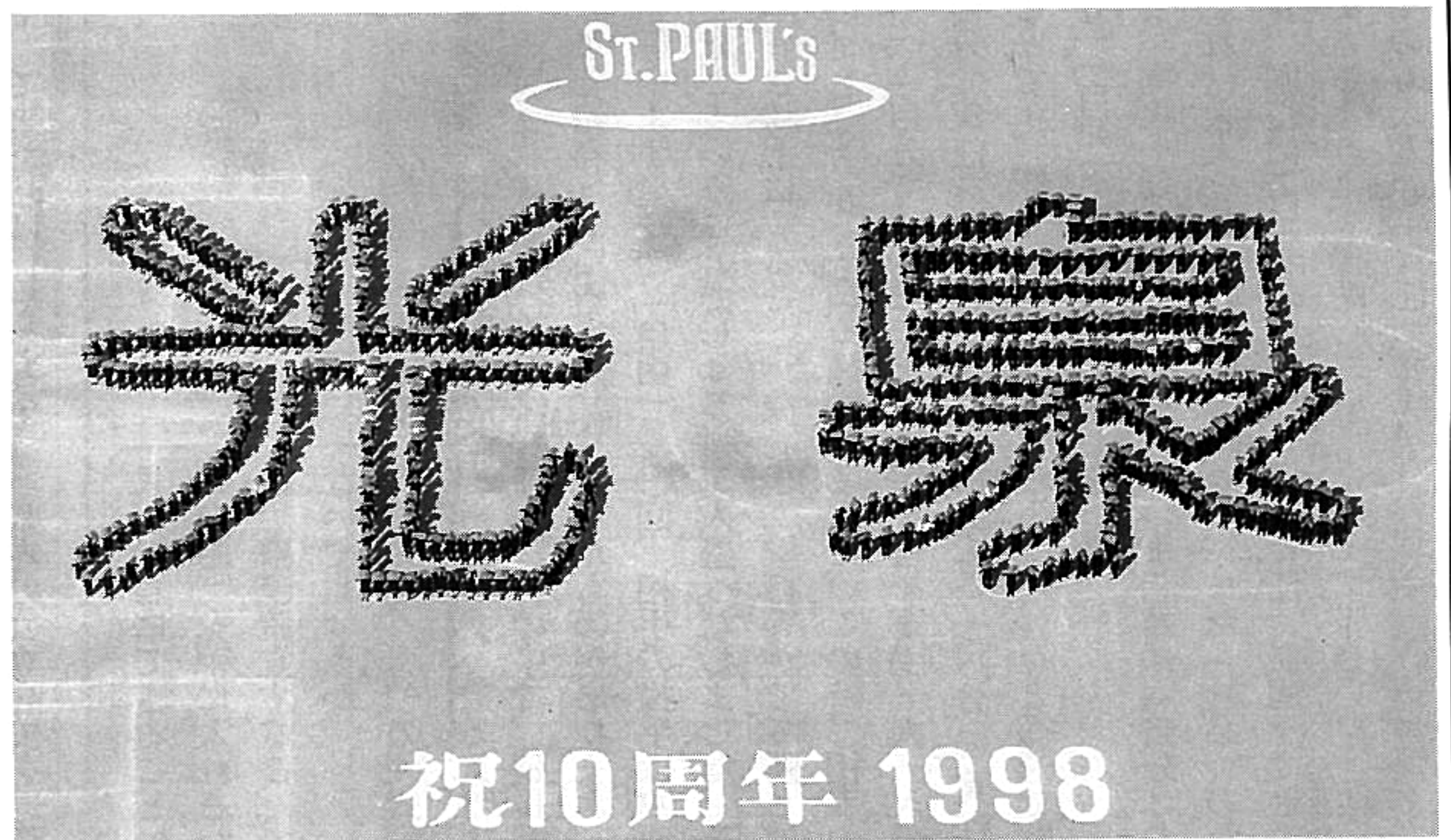


ご承知のように本校は昭和六十三年に開校されて以来、十年目を迎え、いよいよ来年の五月には創立十周年を記念して式典やさまざまな事業が計画されており、今迄の先達や先輩の並々ならぬご努力により今日を迎えられたのだと深く敬意を表するものであります。まさに「ローマは一日にしてならず」であり、日々の真摯な積み重ねの精進の

結果であると考えます。私は毎日、朝日の光に輝く白亜の学舎を迎えられ、比叡山に沈む太陽に送られる一日を過ごしております。毎朝、八時十分には校内放送で讃美歌が流れる中で、「祈り」から学習が始まり、敬虔な気持ちになります。「光」と「祈り」から本校教育が展開され、すばらしい人格が形成されていくものであります。もう一つの

柱は何と言っても学力を伸ばさせ、自らの未来を自ら力できり開いていく力をつけることとあります。即ち「進路の保障」こそ眼目でなければなりません。先生方の努力や生徒諸君の努力により大学進学の実績も徐々に顕著になって来ております。これが伝統となり校風になってこそ、その内実化が実現していくことと存じます。

より一層のご協力をお願いして挨拶いたします。



開校10周年を記念して撮影した航空写真(平成9年10月12日・日曜日)



豊かな感動のステージへ

東急観光

滋賀支店/草津市大路1丁目12-17(参番館1F) TEL 077-565-0109(代) FAX 077-565-0112